

おすすめ図書紹介

嫌われる勇気

—自己啓発の源流「アドラー」の教え

幸せになる勇気

—自己啓発の源流「アドラー」の教えII

本書は、悩みを抱える青年とアドラー心理学を修得し「人は誰でも今この瞬間から幸せになれる」とうたう哲人との、対話物語になっています。

著者の岸見一郎氏は、あとがきで『嫌われる勇気』が地図なら、『幸せになる勇気』はコンパスである』と語っています。『嫌われる勇気』は、アドラー心理学を知り、その思想のもととなる真理を学べる本です。それに対して『幸せになる勇気』は、アドラー心理学を実践することで、幸せな人生を歩んでいくための具体的な方法を示した本です。

対人関係の悩み、日々の生活での苦悩、先の見えない不安。悩みもがいている人は沢山いると思います。「幸せに生きるためにどうすればいいのか」、本書は自分を見つめ直すきっかけになります。そして、様々な悩みを解決するヒントを与えてくれるでしょう。

たくさんの仲間・友人と共に成長できる今、皆さんに読んでいただきたい本です。これからの人生を楽しむためにこの本を手にとってみてはいかがでしょうか。

教育工学研究室 教務補佐員 野嶋 志保里

僕はロボットごしの君に恋をする

舞台は2060年、最新鋭のロボットが街中に溢れている東京です。主人公の健は、精巧なロボットの操作員として極秘プロジェクトに携わっています。彼は、幼馴染の妹の咲に恋心を抱いていました。3度目のオリンピックを控えた東京で、咲の勤務地を

狙った爆破テロが発生します。健は警備のため、ロボットとして咲の勤務地に配属され、テロに巻き込まれてしまいます。この事件で紆余曲折の末、健は指名手配されてしまい、咲と一緒に逃げることになるのですが、そこには衝撃の事実が待っていました。

謎の男、テロの犯人、衝撃の事実…怒涛の展開で、夢中で読み進めてしまう作品です。

体育学部3年 杉田 晴香



山田悠介 著／河出書房新社

DVD紹介

そして父になる

「6年間育てた息子は、他人の子でした」
センセーショナルなコピーで話題となったこの映画は2013年に公開され、第66回カンヌ国際映画祭審査員賞を受賞した大ヒット作です。

大手建設会社に働き、都心の高級マンションで妻と6歳の一人息子と幸せに暮らす主人公。ある日、病院から「出生時に息子が看護師によって他人の子と取り違えられていた」と知らされます。実の息子は群馬で小さな電気店を営む夫婦のもと、3人兄弟の長男として育てられていました。対照的な2つの家族。父、母、息子、それぞれの想い。悲しい事実を前にして傷つき、悩み、葛藤します。大切なのは過ごしてきた時間か、血のつながりか。

親子とは、人の絆とは何か、考えさせられる作品です。

図書館事務室 大浦 京子



制作：2013年「そして父になる」制作委員会
監督・脚本・編集：是枝裕和

図書館カレンダー

状況により、変更する場合があります。

9:00～13:00	9:00～14:00	9:00～16:00	9:00～17:00
9:00～19:00	9:00～20:00	終日閉館	未定

2021年 4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2021年 5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2021年 6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2021年 7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2021年 8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2021年 9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

編集・発行：東京女子体育大学・東京女子体育短期大学
図書館運営委員会
東京都国立市富士見台4-30-1 TEL.042-572-4131

TWCPE Library Report

LIVRE

リーヴル

学校法人藤村学園 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学

図書館報

2021春号 No.33

そうしゅんふ

早春賦

よしまる かずまさ

吉丸 一昌

春は名のみの風の寒さや

うぐいす
谷の鶯歌は思えど

時にあらずと 声も立てず

時にあらずと 声も立てず

と あし つの
氷解け去り草は角ぐむ

さては時ぞと 思うあやにく

今日もきのうも 雪の空

今日もきのうも 雪の空

春と聞かねば知らでありしを

せ おもい
聞けば急かる 胸の思を

いかにせよとの この頃か

いかにせよとの この頃か

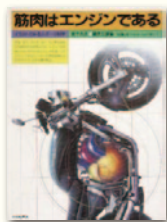


筋肉はエンジンである —イラストでみるスポーツ科学—

「序」に、「身体運動の科学」の成果は、体育教師に直接指針をあたえるとともに、学習指導要領の内容を…」とあります。つまり、保健体育の教員にとって必要なスポーツ科学の知識がまとめられており、教員を目指す学生にはぜひ読んでもらいたい一冊です。

内容は主に「スポーツ生理学(運動器系、循環器系)」と「バイオメカニクス」です。質の高いイラストが紙面の半分を占めていて、まったく堅苦しさがない専門書です。オムニバス形式で、おおむね見開き1ページで話題が完結していますから、興味のあるところだけ「つまみ食い」をしてもよいでしょう。上記授業の予習・復習に活用するのにも最適だと思います。

バイオメカニクス研究室 若山 章信



宮下 充正、勝井三雄
編／大修館書店

教科担当から 書籍紹介

アーティストの手紙

ダ・ヴィンチ、ゴヤ、
モネ、ロダン、ウォーホル…
100人の気がかり

著名なアーティスト100人の手紙を、手紙が書かれた時代背景や本人についての解説とともに紹介している本です。手紙は、直筆のもの、タイプライターで打たれたもの、挿絵があるものなど、どれも個性豊かです。アーティストたちの人間味や温度が手紙から感じられ、本をばらばらとめくだけでも楽しめる一冊です。

ジャン・コクトーに送ったピカソの手紙からは、バレエ・リュスとの関わりが見えたり、ジャスパー・ジョーンズの手紙には、マース・カニングハムの名が登場し、ジョン・ケージとともに共同制作を行っていたことが読み取れたり、史実として知っていることが、アーティスト本人の言葉から垣間見えるところに面白さがあると思います。

ダンス研究室 長谷川 千里



マイケル・バード 著
大坪 健二 訳／マール社

みえるとかみえないとか

私の専門分野目は柔道です。この本は、本学柔道部の練習に定期的に参加してくださっている視覚障がい者柔道の選手からいただいた本です。

この本は、目が見えない宇宙人が主人公として登場します。目が見えないことは特別な事なのか? 「健常者」とは? 「ふつう」とは何か? 私たちの基準が当たり前であり「ふつう」なのか? 一度自分自身の価値観を振り返り、「ふつう」がない世界を考えることの大切さが描かれています。子ども向けの絵本でありながら、大人が読んでも深く考えさせられる一冊です。この本の最後に「同じところを探しながら、違うところをおたがいに面白がればいいんだね」という文章があります。この本を読み、学生たちに本当の意味での「視野」を広げてほしいと思います。

武道(柔道)研究室 佐藤 愛子



ヨシタケシンスケ、伊藤 亜紗
著／アリス館

赤い蠟燭と人魚

北の寒い寒い海に棲む身重の人魚は、生まれてくる子の幸せを願い、優しく情け深いといわれる「人間」に赤ちゃんを託します。蠟燭屋の老夫婦が人魚の赤ちゃんを大切に育て、美しい娘に成長した人魚は蠟燭に絵を描きますが、そこへ香具師(やし)が人魚を見世物にするために売ってくれとしつこく訪れるようになり… 有名なこの話には最後まで救いがありません。「人間」への期待を裏切られた人魚の母親は、優しくしたはずの老夫婦によって売られてゆく娘を見て何を思ったでしょう。人間なんて、所詮はこんなものなのでしょうか。しかし、それでもなお、と思います。人間のどん底の邪悪さ、愚かさも認めたくて、人間のよいところを探していくのが、心理学という学問であるように思います。



小川 未明:文 酒井 駒子:絵
／偕成社

教育心理研究室 大石 千歳

凡事徹底

イエローハットの創業者である著者は、この本の中で次のように述べています。「才能のない私自身がこの世の中を渡っていくためには、悪いことをするか、あるいは、徹底して平凡なことをきちっとやっていくかのどちらかしかなかった。」

この本の内容は、一言で言えば「平凡を非凡に努める」ということです。つまり「当たり前のことをただやるだけでなく、徹底的に継続して実践する」という趣旨です。この本を読むと、

『人は優れた才能を有していなくても、こつこつ努力すれば勝負できるんだ』と思えるようになってきます。当たり前だけどできていないことはないか、平凡だけど徹底を欠いていることはないかと自己を見つめ、発見した課題に取り組むことが大切であると気づかせてくれる一冊です。



鍵山 秀三郎 著
／致知出版社

野外運動研究室 本田 宗洋